



シニア層向け非金融WEBサービスの実証実験の実施について

千葉銀行(頭取 米本 努)は、人生100年時代における新たなビジネス展開に向け、9月21日(火)から12月30日(木)まで、三井住友信託銀行株式会社(取締役社長 大山 一也)、富士通株式会社(代表取締役社長 時田 隆仁)、および株式会社野村総合研究所(代表取締役会長兼社長 此本 臣吾)と共同でシニア層向け非金融WEBサービスの実証実験を実施します。なお、本実証実験は三井住友信託銀行との協業^{*}における第2弾の取組みとなります。

人生100年時代が到来するなか、多くのシニア層のお客さまは、将来のこと、お金のこと、健康のことなど様々なお悩みを抱えていらっしゃいます。

この実証実験では、そのようなお悩み解決の一助となるべく、シニア層のお客さまの関心が高い分野から3つのWEBコンテンツ(「デジタルエンディングノート」、「相続シミュレーション」、「脳の健康度チェック」)を当行ホームページ上に期間限定で無償提供します。各コンテンツとも気軽にご利用できる内容としており、簡単な金融アドバイスも掲載しております。

当行は、今後も多様化する高齢者のニーズや社会課題の解決に向けた取組みを一層推進していくとともに、地域社会への新たな付加価値を創造してまいります。

<各コンテンツのイメージ図>

[デジタルエンディングノート]



質問に答えながら今の状況や気持ちを整理
ミニエンディングノートがダウンロード可能

「これからやりたいこと」、「医療介護」、「資産整理」、「ペット」の4テーマを設けており、質問に回答していただくと、簡単にエンディングノートが作成可能
※富士通(株)が提供

[相続シミュレーション]



家系図ツリー シミュレーション

見やすい画面かつ感覚的な操作(クリック・タップ)で、取っ付きにくい遺産分割の検討や相続税額の概算がシミュレーション可能
※富士通(株)が提供

[脳の健康度チェック]



「脳年齢」、「集中カスコア」、「記憶カスコア」を簡単チェック!

ゲーム感覚で楽しくチャレンジすることができ、脳年齢のほか、集中力、記憶力がスコアで分かり易く表示され、簡単にセルフチェック可能
※イーザイ(株)の開発コンテンツを(株)野村総合研究所が提供

以上

※三井住友信託銀行との協業について

2020年9月に協業を開始し、長寿社会において高齢者が抱える経済面、生活面、健康面などのさまざまな問題を掘り下げ、信託機能を活用したソリューションの提供、相続事務の効率化、新商品・サービスの開発などを目的に「高齢社会商品開発・顧客対応研究会」と「相続事務研究会」の2つの研究会を立ち上げております。

協業の第1弾として、当行は2020年12月より「ちばぎん財産管理信託～家族で安心みまもり信託～」の取扱いを開始しております。本商品は、信託業務にかかる共同研究で得た知見を活用して当行が開発したもので、高齢者が抱える認知能力・意思能力の低下リスクなどに対応し、家族と銀行が一体となって高齢者の財産管理をサポートする仕組みの信託商品となっています。

<協業のイメージ図>

